

日ごろより御前崎市政に対し、格別なるご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染症は、未だ終息する気配もなく、市内経済も停滞の一途をたどっております。このような中、行政には、変化に対処すべく最大限の政策対応が求められていると考えております。

令和4年度の予算編成にあたりましては、第2次御前崎市総合計画である「子どもたちの夢と希望があふれるまち御前崎」の実現に向かうとともに、ポストコロナを見据えながら5つの重点施策を定めました。

『地域を元気に』 特性を生かしたまちづくり

本市は現在、「御前崎スポーツ振興プロジェクト」などのシティプロモーションに力を注ぎ、交流人口の増加に結び付くよう努めております。

新たな取り組みとして、本市の資源を生かした観光戦略の策定や新たな観光体験メニューの確立、観光人材育成の促進を図るため、民間事業者から「観光プロデューサー」を受け入れ、魅力ある観光

地を創出してまいります。

山梨県や長野県からの来訪者の増加を促すとともに、コロナ禍で影響を受けている市内観光事業の活性化と市内経済の回復を図るため、令和3年度から実施している観光キャンペーンを令和4年度も引き続き実施してまいります。

新しい雇用の創出や地域の活性化を図るため、市内に新規進出する企業に対し、新たに工場などを設置するための用地取得費および、従業員の新規雇用に対する補助金を交付することで、雇用機会の拡大や地域の産業活性化に取り組んでまいります。

テレワーク需要への対応やワーケーションの受け入れ支援、創業希望者の交流スペースとして、観光産会館内に整備したコワーキングスペース「ウミカゼベース」を活用し、観光交流・関係人口の増加や新たな雇用創出、サテライトオフィスの誘致など、市内経済の活性化を図ってまいります。

昨年10月に「遠州名産ほしいも」などの3品を新たに御前崎ブランドに認定し、合計で14品となりました。今後も引き続き、本市の魅力ある特産品をブランド認定いたします。また、ふるさと応援寄付金に対する返礼品に活用を拡大す

子どもたちの
夢と希望があふれるまちを
総力を挙げてつくっていく

柳澤 重夫

